

事業報告書

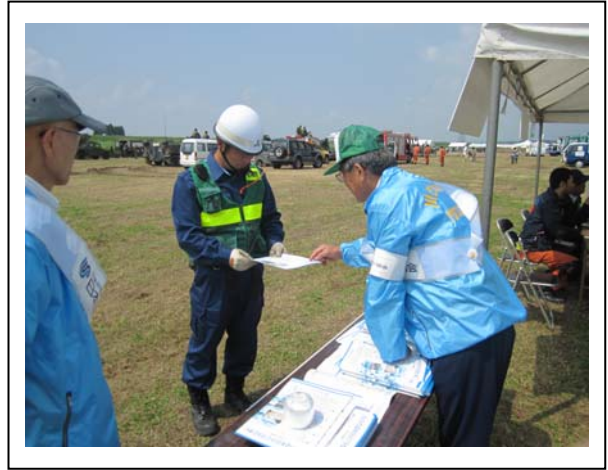
1 支援団体名	公益社団法人 日本河川協会								
2 事業名称	九州地方「水防対策関係資料」作成事業								
3 実施日時	平成24年5月27日(日)								
4 実施場所	宮崎県都城市上水流地区 大淀川河川敷								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容) *できるだけ詳細に</p> <p>公益社団法人日本河川協会では、その公益社団法人としての「公益目的事業」のひとつとして「河川関連キャンペーンへの参画及び支援を行い、安全かつ快適で自然豊かな河川を実現するための啓発活動を広く一般に向けて行う事業」を掲げております。</p> <p>その目的を遂行するため、各地で開催される「水防演習」に参画・支援を行うこととしております。</p> <p>その一環として、九州地方で開催される「水防演習：宮崎総合防災訓練(大淀川・小丸川水防訓練)」にも会議から参画させていただき、「防災意識向上に関する冊子」の製作・配布、活用することにより、広く一般の方々に水防の重要性を啓発し、「防災意識向上の啓発活動」の充実を図るなど支援しました。</p> <p>防災意識向上に関する冊子「自分の命を自分で守るために」を演習当日の参加者約2,500人に配布、更に直接手渡ししながら説明解説を行った。</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>今回の防災意識向上の啓発活動の支援に用いた冊子の最大の目的は、読んでもらうこと、知ってもらうことであり、そのため災害が起こるとどうなるか、どのような危険が起こるか、どう身を守るか、何を用意すべきか等、型通りの記述をするのではなく、実例を取り入れものとした。</p> <p>また、九州地方の行政機関(国・県・市等)が公表している防災情報の中からこれだけは、みなさんに伝えたい!知ってほしい!という各機関から要望のあった防災情報も掲載した。</p> <p>その後、今までのものとはちがうとか、災害に対する対処法をわかりやすく解説しているなどの評価を受けており、町内会や自治会でも防災の意識向上のための話し合いの場で配布したい等の依頼がある等、効果はあったと思われる。</p>								
6 参加内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">総人数</td> <td style="text-align: right;">約2,500名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td style="text-align: right;">620名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">1,880名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加((1)を除く)</td> <td style="text-align: right;">名</td> </tr> </table>	総人数	約2,500名	(1) 主催者参加	620名	(2) 日本人参加((1)を除く)	1,880名	(3) 外国人参加((1)を除く)	名
総人数	約2,500名								
(1) 主催者参加	620名								
(2) 日本人参加((1)を除く)	1,880名								
(3) 外国人参加((1)を除く)	名								
7 今後の方針	防災意識向上の啓発活動の支援を続けるとともに、防災意識の現状を調査し系統的組織的な調査や研究の情報を収集しながら、防災教育も視野に入れ取り組んでいく。								

支援金対象事業に係る資料、写真など

状況写真（冊子の配布）



状況写真（防災士への説明）



状況写真（消防団員への説明）



状況写真（防災教育）



状況写真（内容の説明）



状況写真（声かけ配布）

